



東京日々新聞

八百八十号

武州秩父郡三山村黒澤八郎と云ふ者河平村の後藤巳代吉の女房をまよふ年々密通して居り如何の事ある近頃おろそか腹に居る業あり事ありと見たり或は夜剃刀を八郎の頬へと三寸許り切り割きおろそか八郎の切らんと形でのこと堪へ大宮警視所へ交付せしめんとす



金足屋

瘦田彫米

萬齋
笑幾


